

都留信用組合

「富士道あんぎゃ」再び!!

御山参詣・富士まで歩く講2008

ACTIVE KUMIAI



昨年の富士道あんぎゃの風景

都留信用組合渡辺征夫理事長は昨年引き続き、富士山の世界文化遺産登録を目指す一環として、東京・日本橋から富士吉田市までの約120kmの道のりを5日間かけて踏破する「富士道あんぎゃ」に財団法人ふじよしだ観光振興サービス、富士吉田市などと協力してイベントに取り組み。

「富士道あんぎゃ」は、富士吉田市が平成10年から7年連続で開催していたイベントで、開催当初は好評を博し平成12年には最多の35名が参加したが、PR不足もあり徐々に低迷、平成16年には6名まで減少し休止となった。しかし、再開を期待する声相次いでいたことや同組合が運営面や資金面で協力することもあり、昨年再び復活する運びとなった。今回、「御山参詣 富士まで歩く講 ある(じつ)2008」と題し、6月26日に東京・日本橋を出発。史跡に立ち寄りながら富士講の歴史と文化を学び、同30日に富士吉田の北口本宮富士浅間神社に到着、「御道開き」の儀式に参加する予定。富士山の登頂を希望する人には別途料金を支払えば、「御師の家」に宿泊し、山頂で朝来光を迎えるための登山オプションも用意されている。

当日のコースは、東京・日本橋の鉄砲洲稻荷神社を出発し、府中、八王子、高尾、上野原、猿橋、大月、西桂、下吉田、金鳥居などを經由し、目的地の北口本宮富士浅間神社まで120kmを歩く。

現在、このイベントに参加される方を募集中です。この機会にぜひ一度富士講の歴史と文化に触れてみるのはいかがでしょうか。詳細については財団法人ふじよしだ観光振興サービス又は富士吉田市役所のHPをご覧ください。

